

最近の本学の取組等について
2022.11 ~ 2023.1

活動報告

1. 教育研究活動報告会

社会に開かれた大学を目指し、学生、保護者、同窓生、産業界、地域の方々と情報・意識の共有を図りながら、より一層のご理解・ご支持を賜るため、本学の教育研究活動報告会を開催しました。

日時：2022年12月7日（水）13：30～14：00

開催方法：オンライン（Microsoft Teams）

対象者：本学教職員、学生、一般

内容：【説明者】渡部 廉弘（本学事務局長）

・第4期のビジョン&中期目標、教育/研究/社会連携の活動実績、2021年度財務状況報告 他

参加者数：107名

教員の受賞

1. 竹下 隆晴教授の研究グループが、NEパワー・エレクトロニクス・アワード 最優秀賞を受賞

受賞者：竹下 隆晴教授、北川 亘准教授、 武道 宏平（博士後期課程2年）

概要：電気・機械系プログラム 竹下 隆晴教授の研究グループの「350kW出力で5分内のEV充電器 小型・高効率を実現」が日経エレクトロニクス（NE）主催「NEパワー・エレクトロニクス・アワード2022」において、「最優秀賞」を受賞しました。本賞は、直近2カ年（基となる技術は2年以上を含む）に日本の大学や公的研究所に所属する研究者が国内および海外の学術誌で発表した、カーボンニュートラルに不可欠な技術分野の1つであるパワーエレクトロニクスに関する論文のうち、革新性と実用性を備える研究開発を行う研究者を表彰するもので、今回、2022年11月1日に開催された鉄道総合研究所フェロー 正田英介氏を審査委員長とする審査委員会にて、竹下教授らの研究における社会的なインパクトの大きさが高評価を得て、最優秀賞に決定されたものです。

学生の受賞

1. 伊藤 孝紀研究室の学生グループによる保育園の建築計画案が、とよはし公共建築学生チャレンジコンペティションで選定、設計方針に採用されました。

受賞者：工学専攻社会工学系プログラム 中山 朋紀、原 希望
社会工学科 永井 里奈

概要：伊藤孝紀研究室の学生グループが、豊橋市の老朽化した新吉（しんよし）保育園の移転整備に伴う建築アイデアを募るコンペティションにて、114組から最終審査を通過した4組のうち1組として、0～2歳児の特性・豊橋の風土に着目し、子どもたちがニワをさんぽしながら様々な風土を発見できる園舎「風土の中のさんぽミチ」の建築計画を提案しました。魅力的かつ実現性が最も高い効果的な提案であるとして、新吉保育園の移転整備における設計方針に採用されました。

